境界をめぐって

向井山　朋子

境界についてのニュース、時事が巷に溢れる昨今だが、そもそも私が境界について考えを巡らすようになったのは、自分の仕事の領域から来ている。

幼年の頃から（実は母親に強いられて）ピアノを続け、大学院を合わせると十年、三カ国にわたって音楽大学に所属（もともと学校嫌いなくせに）したにもかかわらず、ピアニストとして生活できるようになると同も無く美術が面白くなり、写真、ビデオ、インスタレーションを創作し始め、越境がますます高じて、さらにここ数年はダンス作品も制作し、近年演出も始めた。一意専心が美徳とされることは承知しているが、貪欲な好奇心が一つの場所にとどまらせない。私が呈示したい世界を表現するには、領域をまたぐことが必須なのだ。

子供の頃よく「ほどほどにしなさい。」と諭された。「ほどほど」の意味がよく理解できなかった。今アーティストになって確信しているが、この「ほどほど」は芸の道を極める上で、時に障害になる。この世界ではどほどにしていると、説得力のある作品は作り出せない。芸の道は自分の前にある境界を見極め、到達してはそれを塗り変えていくこと、そしてその反復かもしれない。

一般に言うところの境界について話を戻そう。私たちはあらゆる種類の、そしてますます多くの境界がとりまく時代に生きているようだ。

国と国を隔てる境界、自分と他者を区別する境界線、我々と彼ら（トランプ的！）を分別する境界、公と私事を律する境界、男と女を分ける境界、正しいと誤りを判別する境界、美と醜を識別する境界などなど。よほど管理された環境にいる人間でない限り、これら境界を審判するのは困難だろう。あるいは意思に関係なく、先見的に自分の立ち位置が（ほんやり）決まっていたりするかもしれない。

境界というのは実は「線」ではなく「帯」であるべきではないか、と最近思っている。そしてその帯は太ければ太いほど良い。境界はアチラか、コチラかをはっきり区分する分断の線ではなく、白黒はっきりしないほんやりしたゾーン、豊かなグレーの帯状地帯。

誰もが感じている不穏なこの時代にこそ、あえて不明瞭さの中に価値、新しい可能性を見出すこと、緩やかな帯のような境界に身を置いてみること、そこに未来へのヒントが隠されていると思うのだが、どうだろう？

地域活性化の担い手の育成という役割

校長　畑　伸憲

同窓会のみなさまにおかれましては、平素より本校並びに在校生のために何かと心強いご支援とご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、和歌山県の次期長期総合計画によると、二〇一六年四月時点の和歌山県の人口は約九十六万人で、今後対策を何も講じなければ、二〇六〇年には五十万人程度まで激減すると予想されています。本県の人口は、全国より速い流れで減少が進んでいるそうです。持続可能な和歌山県を実現するためには、「高齢者一人を現役世代二人で支える形態」をつくらなければならず、そのため、二〇六〇年の目指すべき県人口を七十万人程度とすることを目標として掲げています。

そのため、県ではその施策の一つとして、高校生の県内就職や、大学等へ進学した生徒のUターン就職を積極的に進めています。学年の同窓会を開く幹事さんにお願いして、その学年の地元へのUターン率をうかがうと概ね五〇％前後でした。これは決して低い数字ではありません。これまで本校は、地元の企業をはじめ、医療従事者や学校の教職員などの専門職、地方行政機関の職員などに多くの人材を地元に供給し、地域の高等学校としての役割を果たしてきています。現在一名です。来年度入学生も五クラスですので、来年度は全学年で十五学級となります。小規模化する本校で、今まで同様の人材の育成を担っていくためには、これまで以上の教育力を持たなければなりません。新宮高校は若者を都会へ流出させる装置ではなく、地域課題の解決を担う人材の育成機関として地域活性化に寄与していきたいと思っています。そのためには、理数教育・英語教育の充実や海外姉妹校とのホームステイなどによる積極的な国際交流、防災訓練などによる地域との人々との交流など、授業やクラブ活動以外の学びの場を多く設けていきたいと思っています。

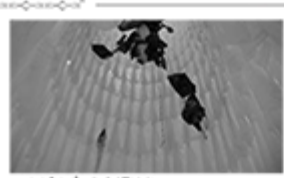
本校では、今後も魅力ある学校としてさらに発展し、生徒に夢と希望を与えることができる教育を目指して、教職員一同全力を尽くして取り組んでまいります。

同窓生の皆様には、これまでにもまして新宮高校の発展のためにお力添えいただけますようお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

本校では、「総合的な学習の時間」で、生徒の探究活動として「地方創生」をテーマに地域学習を行っています。生徒の目を通してふるさとのことを深く知ることにより、ふるさとの現状と課題を知り、それに対する施策を考えることで、より多くの生徒が、将来地元に戻り、地方創生のために活躍することを期待しています。

今年度の新宮高校は、一年五学級、二年五学級、三年六学級の十六学級、六四

HOME　©向井山朋子



wasted　©白坂ゆり

ラ・モード　©伊東豊雄建築設計事務所

My Private Odyssey　©Andres J. Etter

向井山 朋子氏　経歴

ピアニスト/美術家

オランダ・アムステルダム在住のピアニスト、美術家。1991年国際ガウデアムス演奏家コンクールにおいて日本人として初めて優勝、村松賞受賞。アンサンブル・モデルン、アンサンブル・アンテルコンタンポラン、ロンドンシンフォニッタ、ロイヤルコンサルトヘボウなどに毎年ソリストとして招聘され、新曲の初演に携わる。また、近年は従来の形式にとらわれない舞台芸術やインスタレーション作品を発表。向井山の関心は一貫して、音楽が演奏される空間とそれに関わる人間（演奏者、観客）が音楽をどのように受け止め、またその空間を知覚するかにある。日本とオランダ、自身のあるいは他者の身体性、セクシャリティ、演奏と記憶、などをテーマに異なるテーマを横断し侵犯しながら共存をめざす作品の演奏・制作を続けている。2007年、向井山朋子ファンデーションをオランダに、2015年には日本で一般社団法人〇+（マルタス）を設立し、プロデュースの分野でも活躍。音楽のみならず美術、建築、ファッション、ダンス、写真など幅広い分野とのコラボレーションで独創性を発揮している。2017年は台中オペラハウスのこけら落としとして制作された「La Mode（ラ・モード）」、インスタレーション・パフォーマンス「HOME」が共にヨーロッパツアーを予定。また2019年に発表される能を題材とした新作品「Noh Noh Noh」の準備が進んでいる。2014年オランダVSCO賞、2016年「日本ダンスフォーラム賞」を受賞。

平成二十八年春　進路状況

進学

◎国公立四年制大学

大阪市立大学　工 1
大阪府立大学　工学域 1
岡山大学　工 1
〃　文 1
香川大学　経済 1
神奈川県立保健福祉大学　保健福祉 2
県立広島大学　生命環境 2
〃　保健福祉 1
高知大学　理 1
神戸大学　医 1
滋賀大学　教育 1
島根県立大学　総合政策 1
島根大学　総合理工 1
徳島大学　総合科学 2
〃　理工夜 1
鳥取大学　工 1
広島大学　教育 1
〃　工 1
福知山公立大学　地域経営 1
北海道大学　水産 1
山梨県立大学　人間福祉 1
和歌山県立医科大学　保健看護 1
和歌山大学　観光 1
〃　教育 3
〃　経済 2
〃　システム工 1

◎文科省管轄外の大学校

近畿職業能力開発大学校　電気エネルギー制御科 1

◎私立四年制大学

大阪大谷大学　教育 1
大阪学院大学　法 1
大阪経済大学　経営 1
大阪芸術大学　芸術 1
大阪国際大学　国際教養 1
大阪樟蔭女子大学　健康栄養 1
〃　経済 1
大阪商業大学　経済 1
大阪人間科学大学　人間科 1
大阪薬科大学　薬 1
大谷大学　文 2
追手門学院大学　心理 1
学習院大学　文 1
金沢工業大学　工 1
関西外国語大学　英語国際 1
〃　外国語 4
関西看護医療大学　看護 1
関西大学　経済 2
〃　システム理 1
〃　商 1
〃　人間健康 1
〃　法 1
関西福祉科学大学　教育 1
関西福祉大学　健康医療 1
〃　社会福祉 1
京都嵯峨芸術大学　芸術 1
京都産業大学　経営 1
京都女子大学　現代社会 1
京都造形芸術大学　芸術 1
京都橘大学　人間発達 1
京都ノートルダム女子大学　心理 1
共立女子大学　国際 1
近畿大学　生物理工 3
〃　法 1
〃　薬 1
近大姫路大学　教育 1
皇學館大学　教育 1
甲南女子大学　文 1
神戸女子大学　健康福祉 1
国士舘大学　政治・経済 1
駒澤大学　文 1
鈴鹿医療科学大学　保健衛生 1
成安造形大学　メディアデザイン領域 1
相愛大学　人文 1
創価大学　教育 1
帝塚山大学　現代生活 1
東海大学　健康科 1
東京工科大学　コンピュータ 1
同志社大学　理 1
常磐会学園大学　国際こども教育 1
徳島文理大学　人間生活 1
〃　薬 1
獨協大学　経済 1
名古屋女子大学　家政 1
日本大学　法 1
阪南大学　国際コミュニケーション 1
佛教大学　社会 1
〃　社会福祉 1
〃　文 3
明星大学　教育 1
武庫川女子大学　文 1
桃山学院大学　法 3
立命館大学　経営 1
和光大学　表現 1
早稲田大学　スポーツ科 1

◎公立短期大学

新見公立短期大学　幼児教育 1